

「歴史認識の国際政治学」

近年顕著なのが「歴史認識」をめぐる韓国と日本、中国と日本の外交関係の悪化である。前者では日本の朝鮮半島の併合と植民地統治が、後者では満州事変・日中戦争を中心とする日本の中国への軍事進出と占領が焦点となっている。しかしながら、歴史認識をめぐる対立は日本と近隣諸国との間に特有の現象ではない。戦争、革命、領土、帝国、植民地支配、移民などをめぐる歴史認識の違いから生じる対立や紛争は、ヨーロッパ、中東、アフリカ、アジア、南北両アメリカのいたるところに存在する。英国とアイルランド、英国とインド、フランスとアルジェリア、ドイツとポーランド、ロシアと周辺諸国、バルカン半島の諸民族集団、トルコとギリシア・アルメニア、イスラエルとパレスチナ、中国と周辺諸民族、インドとパキスタン、インドネシアと東ティモール、米国とメキシコ、など事例には事欠かない。また、活字や映像からインターネットに至る情報伝達技術の発達と媒体の多様化が、国境を越えて人々の歴史認識の形成にもたらす影響も看過できない。

本特集においては、国家やアクターの間で歴史認識の異同が生じる要因、歴史認識の対立をもたらす紛争の構造と形態、歴史認識が各国の政策形成や外交関係にもたらす影響、対立を抱える国家間の歴史共同研究の成否、歴史認識に基づく紛争の回避と緩和の方法などを多角的に分析考察することをめざしたい。

論文の応募をご希望の会員は、論文の仮タイトルと要旨（600～800字程度）を下記の編集責任者の連絡先までお送りください（締切は2015年8月31日）。応募にあたってはご自宅とご勤務先の住所・電話/FAX番号、メールアドレスをお知らせください。検討のうへ、ご執筆願うことになった方には2015年9月30日までに編集責任者から連絡いたします。論文原稿の最終提出締め切りは2016年5月31日を予定しております。論文原稿の分量は註を含んで2万字以内です。査読のうへ最終的な掲載の可否を決定いたします。本号の刊行は2016年11月を予定しています。執筆要領の詳細は学会ホームページでご確認ください。

<http://jair.or.jp/wordpress/wp-content/uploads/documents/shippitsuyoryo.pdf>

お問い合わせ・お申し込みは下記までお願いいたします。

《編集責任者》 等松 春夫

《連絡先》 〒239-8686 神奈川県横須賀市走水1-10-20

防衛大学校社会科学館307

電話：046-841-3810 内線3159

FAX：046-844-5921

電子メール：elgar2nd@nda.ac.jp